

# 山河に学ぶ

## 3学期もあと1週間

日中、日差しに春の気配を感じるようになりましたが、まだ寒い日もあります。寒暖を繰り返しながら春に向かっていきますので、気温の変化に体調を崩すことなく元気に過ごしたいですね。

さて、徒然草に「功名の木登り」という話があります。この話の“失敗は簡単なところで起きる。最後まで気を引き締めよ”という教えを肝に銘じています。3学期もいよいよあと1週間。最後まで気を緩めず、1～5年生は新しい学年に、6年生は中学校進学に向けての準備をきちんとし、学校の最大行事である卒業式を迎えたいです。



<6年生も卒業式で歌う曲の練習>

## 6年生を送る会で盛り上がる



児童会を引き継いだ5年生が初めて企画運営した児童会行事の“6年生を送る会”が3月2日の5校時に行われました。歌やリコーダー、寸劇、学習クイズ、早口言葉等々、各学年の工夫を凝らした発表にみんなで大笑いしたり、6年生一人一人の特長を表した一言一言に聞き入ったり、手作りプレゼント渡しに笑顔がこぼれたりしました。特に、6年生が1年生だった頃からの日常生活や行事の一コマの写真がパワーポイントで映し出されると、6年生はその頃を懐かしむと同時に感無量の顔をしていました。

最後の校長の話の時「6年生の皆さんは、千代小学校で学べてよかったでしょ？」と問いかけると、大きく頷いた6年生でした。

小規模校で全校が仲のよい千代小学校だからできる、心のこもった6年生を送る会になりました。心がじーんと温くなる素敵な時間でした。

## 6年生 ロケット打ち上げで感激!

おもしろ科学工場の森山さん(法全寺)、萩元さん(田力)のご指導により、快晴の3月2日1校時から6年生は小型ロケットを作り始めました。「6年生の卒業前のよい思い出に」と森山さんが今年も提案してくださったのです。

6年生がすぐ作れるようにと、全ての材料も用意されていたので、指示通りに形にしていくことができました。

そして、20分休み。全校児童が見守る中、6年生は“中学校に行ったら頑張りたいこと”を中心に一人ずつ発表した後、発射ボタンを押していきました。

シューッ。勢いよくロケットが空高く飛んでいくと、落下を予想し自分のロケットキャッチしようと、6年生が走ります。うまくキャッチできた子は大喜びでした。

全員が夢を乗せて飛んでいくロケットと共によい思い出を作ることができました。他の子どもたちも自分たちのロケット打ち上げを今から楽しみにしているようです。

森山さん、萩元さん、素晴らしい思い出をありがとうございました。(この様子は、abn長野朝日放送の当日のニュースで昼と夕方放映されました)



## 6年「市田柿の研究」テレビ取材 今年も小島よしおさん(お笑い芸人)来校!?

本年度、6年生は荻坪在住の篠田孝雄さんのご指導の下、市田柿作りを体験しながら市田柿の研究をしました。その研究が SBC 学校科学大賞の入選候補になり、2月14日に SBC 信越放送の取材がありました。

番組司会はお笑い芸人の小島よしおさん(昨年も)と石井嘉穂アナウンサーです。子どもたちが市田柿作りの工程や苦勞、自分たちの疑問をどんな実験をして解明したか等の説明をすると、小島よしおさんや石井アナウンサーは、「どうして渋柿を干すと甘くなるの?」「粉がふくのはなぜ?」等、話を聞いての疑問を子どもたちに返します。ユーモアがあり、絶妙なタイミングの問いかけに、さすがプロだと感心しました。

その後、子どもたちが作った市田柿を使った料理(市田柿のピザ、ココア・きな粉まぶし、柿巻き)などをお二人で試食すると「おいしいねえ」と感想をもらっていました。

最後は、今年も小島よしおさんが「みんな、温室の前に集まれ!ピーヤ」とギャグを入れた校内放送で上手に全校に呼びかけてくださったので、大喜びでみんなで記念写真を撮りました。

今週の土曜10日に6年生は長野市の SBC 信越放送本社に学校科学大賞の表彰式に行ってきます。何賞がいただけるか楽しみです。

**SBC学校科学大賞の番組放映予定は3月25日(日)16:00~です。ぜひ御覧ください。**



## 学校運営協議会・地域応援団コーディネータ会

学校運営協議会は年3回行われます。2月9日は本年度最後の会で、本年度後期の学校自己評価、第三者評価の結果や地域応援団(千代っ子応援団)の本年度の活動等の説明をしました。今回は代田昭久教育長も参加されたので、市教委の立場からも発言していただきました。

委員の方から「ICT教育の指定中学校区になっている。プログラミング教育も入ってくるがどうなっているか」等の質問や「授業参観したらタブレットを使いこなしていたが、理解が深まるとよい」「園児は家庭でDVDにかなりの時間を使っている様子」「保育園や小さいうちから読書をしている家庭が少なくなった」等の意見、「地域を知る授業」の内容への提案等もいただきました。出された御意見は来年度に生かしたいと考えております。

地域応援団コーディネータ会は、2月20日に行われ、来年度の活動に向けた話し合い等がなされました。講師の中上敬介先生(南信教育事務所飯田事務所主事)からは、他地区の活動の様子の紹介、「本校で目指す子どもの姿を共有したい」「応援団は支援ではなく共に高め合う協働という形にしたい」等の御指導がありました。出された御意見、御指導を学校に持ち帰り、職員会議等でも話題にしていきたいです。



